幼児に対する母親の意思決定支援行動

○蓮見元子¹

(1)川村学園女子大学)

キーワード: 母親・幼児・意思決定支援

Mothers' support behavior for children's decision-making
 Motoko HASUMI¹, Kentaro KAWASHIMA², Yasuko KITAHARA¹,
 (¹ Kawamura-gakuen Woman's Univ., ² Tokai-gakuin Univ.)
 Key words: Mother, Children, Decision-Making

問題と目的

子供たちは毎日さまざまなことを選び、意思決定をしている。例えば、何をして遊ぶか、どの洋服を着るか、などである。子どもの年齢が低い時には大人が選んでしまうことが多いであろうが、次第に子ども自身で選ぶようになる(川嶋, 2017)。このような意思決定能力の発達に影響を与える大きな要因の一つに保護者の関わり方が考えられる。母親は子どもが幼い幼児であっても、子どもの意思を尊重し、意思決定支援を行っているのではないだろうか。蓮見・川嶋・北原(2018)は2歳までの初期の母子遊びを観察して、子どもからの意思決定表明がまだ殆ど見られず、言語による返答もできないが、子どもの意思を逐次尋ね、確認し、子どもが遊びたい行動を主体的に自己決定できるように働きかけられていることがわかった。

本研究では2歳6ヵ月から、3歳にかけての子どもの意思決定と母親の支援行動を縦断的に明らかにすることを目的とした。

方法

観察対象

調査協力者は10組の母子。2歳6ヵ月、3歳の2年齢段階。

観察手続き

自由遊び場面を設定し、そこで観察された見られた子どもの意思決定支援場面における母親による支援行動(主に発話)を取り上げた。観察は1組ずつで、15分~20分間、所定の遊具(絵本、積み木とコップ、手袋人形、ねじまき人形、パズルボックス)が置かれた部屋で母子一緒に遊ぶ場面を設定した。母親には「何種類かのおもちゃがあるので、一つのおもちゃで遊んだら、それを片づけて次のおもちゃで遊ぶようにしてください。それでは、自由に遊んでください」と教示した。VTRに録画し、母子の発話及び行動を逐次起こして分析資料とした。

観察行動

所定の遊具を使って、母子で自由に遊ぶ場面においては、「一つの遊び始める時」、「その遊びを終わらせる時」に子どもないし母親の意思決定が働く。本研究では、意思決定が顕著に現れる場面として、こういった遊びの「始まり」の場面と遊びの「終わり」の場面を取りだし観察・記述し、子どもの意思決定行動と母親の意思決定支援行動について検討した。

結果

●2歳6ヵ月

子どもの意思が出てくる。意思と同時に、言葉で自分の意思を表現し始める。したいこと、してほしいことを言葉や動作、あるいは物を提示するなどして表現し始める。母親は子どもの意思を確認しながら、ほとんどの場合、子どもの意思に従っていた。

また、母親は遊び始めるときには、「どっちがいい」といったように選択肢を提示し、子どもの意思決定を促すことが多かった。一つの遊びを終えて、次の遊びに移るときも、誘いや提案よりは選択肢の提示が多くみられた。

子どもは次に遊びたい遊びを提案したり、遊びたいおもちゃを提示するようになったが、それに対し母親はその意思を尊重し、従っていた。また、子どもの行動から意思を憶測し、意思を確認するなどしてから、それに従う様子が見られた。

●3歳0ヵ月

2歳6ヵ月時までは母親は子どもの意思に従うことが多かったが、3歳0ヵ月になると、母親は「5種類のおもちゃで順位不同で遊んでください」と教示されているので、子どもが一つのもの遊具で長く遊び続ける時、そのおもちゃを終わらせようとして、子どもの行動や意思表示を拒否する行動がみられるようになった。

子どもも母親の誘導や・提示に対して拒否して応じないことが出てきた。母親は何回か提案を試みても子どもの意思の変更は難しいと判断すると、諦め、暫くは子どもの意思に従っていた。また、遊びの終了や変更をさせたい場合は、子どもの行動を評価するなどして、その理由付けにしていた。

考察

子どもが2、3歳になると、自分の意思を行動や言葉で表現ようになることが明らかとなったが、母親はこの年齢の子どもに対しても、子どもの意思を尊重し、意思決定支援を行っていた。しかし、3歳になると、互いの意思がぶつかることも出現し、互いの提案を拒否することも見られるようになった。

Table1 遊びの始まりと終わりにおける母親の意思決定支援の例

【母親からの始まり・終わり】2歳6ヵ月

○誘い・提案	・母「これで遊ぼう」
○選択肢の提示	・母「一緒に遊ぼう、どっちがいい」「今度はどっちがいい」
○意思の確認	・母「Oちゃん読む?」
○意思の推測⇒意思の確認	・「これおしまいにしようか」と別のおもちゃを出してくる
⇒提示・誘導	

【母親からの始まり・終わり】3歳0ヵ月

○遊具の提示	・「あげる」と鍵を渡すと「はい」と言ってパズルボックスで遊び始める。
○誘導・提示⇒失敗	・母「つみき。すごいな、いっぱいある。くずれるぞ」子どもは関心なく遊ぼうとしない
○指示・説明⇒了承	母「いいの、今これで遊んでこれが終わったら、違うので遊ぶから」子「ママもこれ」と遊びは始める。
○評価して誘導	・母「これできたから、これないない」
○意思の確認	・子ども「こわい。これがこわい」母「それしまおっか」